

◆第 81 回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

【全国発信記事】北海道地方支部

北海道苫小牧市・室蘭市・石狩市の各自治体に申し入れ

—わが国の海運・水産産業に携わる船員後継者の確保・育成をはじめとする政策諸課題—

北海道地方支部は、12月21日の苫小牧市への申し入れを皮切りに、室蘭市、石狩市の船・海と結び付きの強い各自治体に、第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを行い、船員政策諸課題に関する6項目を強く要請するとともに、各首長に申し入れの趣旨を説明した。また、その後の意見交換で理解を深め、各首長からは、申し入れに対する考えが示された。

申し入れ項目の概要（6項目）

- ①「海の日」の7月20日の固定化
- ②船員の確保・育成等の対策
- ③カボタージュ規制の堅持
- ④フェリー・旅客船の維持・存続
- ⑤海洋プラスチックごみ対策
- ⑥外国人漁船員・外国人技能実習生の擁護について

苫小牧市に申し入れ（12月21日）

12月21日は、首藤孝治苫小牧市議会議員（組合政治参与）にご同行いただき、苫小牧市役所で遠藤飾北海道地方支部長から岩倉博文苫小牧市長に申し入れ文書を手渡した。また、申し入れ内容の趣旨を詳細に説明し、理解を求めた。

苫小牧市側は岩倉市長のほか、金谷幸弘産業経済部長と齊藤和典財政部長、町田雅人環境衛生部長にご対応いただいた。

岩倉市長からは「今回の申し入れの項目はいずれも重要な内容であると考えており、四囲を海に囲まれている北海道にとって海運・水産業、ともに経済を支えるために必要不可欠であると認識している。

船員の確保・育成への対策は重要な課題であると考えているため海に親しむ活動は重要であり、海洋教育の一環として関係各所と連携し協力したい。また、住民税減免について、行政サービスを享受できない点を考慮した均等割部分の減免は、ほかの業種にも同じ境遇の人もおり難しい面もあるが、ほかの自治体の動向も踏まえながら検討をしていきたい」との考えが示された。

室蘭市に申し入れ（12月22日）

室蘭市への申し入れは、前田千代子全国海友婦人会北海道ブロック長と鈴木和彦室蘭市議会議員（組合政治参与）にご同行いただき、室蘭市役所において、遠藤飾北海道地方支部長から青山剛室蘭市長に申し入れ文書を手渡した。また、申し入れ内容の趣旨を詳細に説明し、理解を求めた。

室蘭市側は青山市長のほか、鈴木崇弘副市長と大谷裕司総務課長にご対応いただき「今回の申し入れの項目はいずれも重要な内容であると考えており、四囲を海に囲まれている北海道にとって海運・水産業ともに経済を支えるために必要不可欠であると認識している。船員の確保・育成への対策は重要な課題であると考えているため海に親しむ活動は重要であり、海洋教育の一環として関係各所と連携し協力したい。また、住民税減免については難しい面もあるが、他の自治体の動向も踏まえながら検討をしていきたい」との考え方が示された。

石狩市に申し入れ（12月24日）

12月24日は、上村賢石狩市議会副議長（組合政治参与）にご同行いただき、石狩市役所において、遠藤飾北海道地方支部長から加藤龍幸石狩市長に申し入れ文書を手渡した。また、申し入れ内容の趣旨を詳細に説明し理解を求めた。

石狩市側は加藤市長と小鷹雅晴企画経済部長にご対応いただいた。

加藤市長からは「今回の申し入れの項目はいずれも重要な内容であると考えており、四囲を海に囲まれている北海道にとって海運・水産業ともに経済を支えるために必要不可欠であると認識している。船員の確保・育成への対策は重要な課題であると考えているため海に親しむ活動は重要であり、海洋教育の一環として関係各所と連携し協力したい。船員の上陸・乗下船時の対応については、岸壁からゲートまでの距離が長いため、タクシーの乗り入れが可能かどうか検討したが、制限区域内での責任の所在が問題とされ、現段階でできる限りの対応として、乗下船時の最短ルートとなるようにゲートの移設を考えているので、更なる利便性の向上に向け検討したい」との考えが示された。

北海道地方支部は、引き続き船員に関連する諸問題解決と活動方針の具現化に向けて、組合政治参与をはじめとする関係者と協力体制を強化し取り組んでいく。

「海員だより」